

平成 21 年度宮前区区民会議  
宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会(第 1 回)

平成 21 年 4 月 13 日(月) 18 時～20 時  
宮前区役所第 2 会議室

次 第

開 会

1 議 事

(1) 今後のスケジュールと進め方について

(2) 具体的な課題解決策について

2 その他

閉 会

《配布資料》

資料 1 今後のスケジュールと進め方について(案)

資料 2 宮前区の宝さがしアンケートまとめ

資料 3 議論ペーパー

## 今後のスケジュールと進め方について（案）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
全体会		第1回区民会議			第2回区民会議			第3回区民会議			第4回区民会議	
専門部会												
企画		●		●			●			●	●	
公園・地域	●		●	●		●	●		●	●		
宝さがし	●		●	●		●	●		●	●		
その他		5/20 7区交流会										
												フォーム 総括報告

最終的な報告内容をオーソライズ

第2期の総括

報告内容の確認

議論のまとめ

解決策を区長へ報告

※ 全体会は、5月、8月、11月、2月に開催し、年内には課題解決策を取りまとめて、宮前区長へ報告する予定です。2月の全体会では第2期の活動の総括を行います。

※ 公園・地域づくり部会と宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会は、10月までの全体会のない月に開催します。

## 宮前区の宝さがしアンケートまとめ（平成21年3月23日現在）

## □実施方法

- ・ アンケート票を用いた「まちづくり広場ラブみやまえ」（平成21年2月21日（土）開催）会場での配布・回収
- ・ アンケート票を用いた郵送・ファックス・Eメールでの回収
- ・ ホームページによる回答

## □回答者7名（複数回答あり）

推薦するもの	場所・季節など	推薦理由	推薦者	回答種別
平瀬川	森林公園～菅緑地の間	私たちの町を流れる川。子どもたちと一緒に川に沿って歩くと色々な発見があり、よく歩いています。特に途中にあるとんぼり谷戸は四季を通じて、子どもと過ごす中で自然のありがたみを感じます。	30代女性	まちづくり広場参加者
小台公園	春	土もあって、のんびり遊べる公園。桜の季節とってもキレイ	30代女性	まちづくり広場参加者
東高根森林公園	神木本町	紫陽花の群生する石段が絵になります。湿生植物の木道がとても心地よく散策にもってこいです。登りきったところで、芝生の広場、広々とした芝生と青空、森林浴にもってこいです。	60代女性	FAX
森林公園	オールシーズン	自然の中でのんびりとできる。子ども連れでも、大人でも。	60代男性	まちづくり広場参加者
森林公園シラカシ		緑を大事にしていく必要がある。これ以上少なくならないように。	?代女性	まちづくり広場参加者
宮前区の公園	有馬ふるさと公園、宮崎第4公園、宮崎第1公園、有馬中央公園、菅生緑地など	自然の地形が活かされていて、木が茂っていて、自然が豊富。特に有馬ふるさと公園。森のようなふるさと公園では、どんぐり、落ち葉、のいちご、斜面、いろいろな自然で子どもが自由な発想で遊ぶことができる！ 平らな広場につくられた遊具、炎天下だと暑い！という都会の良くある公園とは違う！！	30代女性	メール
プレーパーク有馬ふるさと公園		自分の責任で遊ぶということをモットーにこどもの遊びについて考えるコミュニティーとその場をつくらうとするグループポレポレが運営するプレーパーク そこにはおおらかな大人が多く、子どもたちも目を輝かせて遊んでいる	30代女性	メール

推薦するもの	場所・季節など	推薦理由	推薦者	回答種別
自主保育	宮前区内の公園等	川崎市内で今や幼稚園、保育園と並んで、選択肢のひとつとなっている自主保育。特に宮前区から広がっていることもあり、盛んです。 宮前区には自然が残る公園が多数あるのも、子どもが過ごす場として適していると思います。	30代女性	まちづくり広場参加者
自主保育グループ そのネットワーク ちいくれん	有馬ふるさと公園 宮崎第4公園 小台公園など	有馬ふるさと公園、宮崎第4公園、小台公園などで活動している自主保育 B.B. だんやくるみの木、自主保育の連絡会、ちいくれん。親が交代でこどもを保育し、こどもと一緒にすごしながら、自分たちの責任で子どもを見守っている自主保育グループ。 ちいくれんはこどもはいかにしていきたいか、遊びの中でこどもは育つなどのテーマで講座をひらき、地域のお母さんたちも一緒にこどもについて考える機会もつくっている	30代女性	メール
赤ちゃん広場・カンガルー通信 カンガルーねっと		出会いのきっかけをつくって、みんながつながって子育てをするあたたかい空気を宮前区に流すことに一役かっているグループ。赤ちゃん広場に参加したことで友達ができ、出会いがあったからこそ子育てを楽しんでいる人、通信を読んで情報をえて、地域のグループにつながった人が宮前区には多くいると思う。 私も赤ちゃん広場があったおかげで、地域に知り合いができ、カンガルーの情報がきっかけで行政や地域、市民活動とのつながりができ、充実した毎日をおくれています。	30代女性	メール
宮崎町内会盆踊り	7月最終金・土宮崎第2公園	やぐらを組み、子どもたちも盆踊りのために太鼓をたたきます。3年生まではバケツ隊ですが、4年生からデビューできます。練習を重ね、指導には中学生や高校生も参加し、地元の電灯をつなげてくれていると思います。	40代女性	FAX
聖マリアンナ医大		地域の中核医療機関として、子どもの出産でもお世話になりました。	60代男性	まちづくり広場参加者

目指すべき方向性

地域みんなで共有できる宝物（顔）を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの形成を図る。

全体会での意見など

- ・ときめき再発見はいい名前だ。宝が活用されないとときめかない。
- ・地域を高める。観光地として、住まいとしての価値を高める。宮前区には知られていない宝がまだまだある。
- ・新しいものを探すことも重要だが、あるものを利用することで新しいものを作ることも必要。
- ・宮前区がどんなところかアピールするものがない。
- ・宮前区は緑がたくさんあって、きれいなまちのイメージである。いいまちだと多くの人が思えるようにしたい。

- ・「やってみたい」がたくさん出てくると良い。
- ・中学校区単位くらいで、地域のみんで宝物を探してもらえよう動きにしたい。
- ・身近な地域での宝と区全体の宝の2本立てで考えられたらいいと思う。

宮前区の宝・顔に関する現状と取組

◆地域資源（宝もの）に関する現状

歴史文化・自然・活動・都市農業など多くの魅力的な資源はあるが、区民にあまり知られていない。

区内の資源を総括的にまとめたわかりやすい資料が無い。

観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を開始した。

目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などがある。

◆宮前区に対する内外のイメージ

自然豊かで閑静な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある。

区のイメージで「とくにない」の回答した区民の割合が市内7区で最も多い（H15、市民1万人アンケート）。

「宮前区ってどんなまち？」と聞かれて、答えられるものや、共通のイメージが無いのではないかと。

◆その他 宮前区をめぐる現状

宮前地区と向丘地区は、東名高速道路が概ねその境となっている。  
→宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っている？

元々、田園都市線沿線を中心に、良好な住宅地として開発されてきた経緯がある。

メディア等の露出が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心である。

宝や顔があるまちのイメージ

◆区民一人ひとりにとって・・・

自分の住んでいるまちについて、区外の人に紹介することができる

地域に愛着を持っている（終の棲家とする）

地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている

◆地域社会にとって・・・

地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成され、地域の課題も地域が主体となって解決にあたっている

解決すべき課題

区の「宝」「顔」となりうる様々な資源を区内で共有し、区外には広くPRする必要がある。

PRを効果的に行うためには、資源の特徴をよく掴む必要がある。

【課題解決策に向けた検討手法】

現状の資源の特徴を把握

課題解決策イメージ

資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス

宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

具体的な課題解決策（議論中）

◆地域で資源を発掘し共有化するための具体的な手法

→小さな地域単位で資源を宝に押し上げる

【これまでのキーワード】

中学校区単位で実施/学校単位で実施/町内会・自治会で実施/ウォーキング/マップづくり/カルタづくり

◆小さな地域単位の宝を区全体の宝にするための具体的な手法

→区全体で宝に顔に押し上げる

【これまでのキーワード】

区民祭の活用/地域対抗による発見した宝のコンペ大会

◆宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

【これまでのキーワード】

マスコットキャラクター/観光大使の創設・活用

## 区民会議 交流会の開催について

### 1 背景と目的

- ・第1期自治推進委員会から、各区の区民会議の委員同士が学びあいながら、お互い協力し合って取組を発展させるため、「各区の区民会議の交流」を行うことが提言されました。
- ・第2期区民会議については、各区で専門部会を設置して審議を進め、フォーラム開催や中間報告作成を予定するなど、運営の中間段階に差し掛かっています。
- ・この機会に、各区区民会議の中間報告を行い、意見交換をすることで、互いの取組状況や運営方法等を学び合うとともに、委員同士の横のつながりを作るきっかけとすることを目的に、7区区民会議の交流会を開催します。

2 開催日時 平成21年5月20日（水）午後3時から5時

3 開催場所 中原区役所5階会議室

4 参加者 60名程度（傍聴者を除く）

○説明者（21名程度）

- ・委員長又は副委員長
- ・委員

各区3名程度×7区

○区民会議参与

○市長

○総合企画局長、区長ほか行政関係者（20名程度）

○傍聴者（説明者以外の区民会議委員、市民）

### 5 内容

（1）市長挨拶

（2）7区委員の交流

①参加者自己紹介

②各区の中間報告

- ・各区の中間報告を壇上で報告（各区5分程度）

③委員間の意見交換

- ・各区報告を受けて、円卓方式で質問・意見交換
- ・状況に応じて市長からのコメント

④意見交換のまとめ

- ・中間報告や意見交換を踏まえた所感（各区3分程度）

（3）市長総括

※時間は2時間程度。終了後に「レストランなかはら」で懇親会を開催（6時まで）